

人口減少・少子化等地域対策強化事業の取組概要

■令和4年度～令和6年度：女性活躍！仕事のやりがい発見プロジェクト

【令和4年度の取り組み】

(1) リサーチ

県内外の現役大学生 69 名にヒアリングによるリサーチを実施した

リサーチ結果（抜粋）

- ・ コロナの影響により、大学との距離感は広がっており、大学からの機械的な情報には満足していない
 - ・ 直接働いている人の声を聞きたい
 - ・ 地元企業に対する知識が乏しく、宮城の企業の情報が行き届いていない
 - ・ 宮城出身者は首都圏の就職を望む傾向があり、宮城以外の東北出身者は宮城の就職を望む傾向が強い
- 宮城→宮城＝約 40% 東北（宮城以外）→宮城＝約 60%
- ・ 宮城の企業情報をより強く発信していくことが重要（宮城・仙台には好印象を持っている学生は多い）
 - ・ 宮城ではたらくメリットの発信
 - ・ 宮城県に愛着があり暮らしたいという思いはあるが、就職については収入や福利の面から首都圏の企業を探す傾向
 - ・ 仙台に住みやすさは感じている
 - ・ 憧れを感じられるロールモデルを探している

(2) 地元で働く女性との座談会の実施

MIYAGI での働き方 Real Talk Day～将来のキャリアに対するモヤモヤ解消～

- 目的 県内で働く女性と女子大学生の座談会を開催し、県内で働くイメージを具体化するとともに、就職に向けた悩み・不安を明確化する。
- 内容 ①女性社会人 6 名によるパネルディスカッション
②女性社会人と参加学生での座談会（20 分×3 回）
- 開催日 令和 5 年 2 月 12 日（日）
- 会場 SPACES 仙台（仙台市青葉区花京院 1-2-15 ソララプラザ 3 階）
- 参加者 学生 21 人

イベントアンケート（抜粋）

- ・ 女性ならではの悩みを相談できた
- ・ 様々な女性の率直な意見や人生観を聞くことができた
- ・ 女性だからこそ聞けることができた（出産など）
- ・ 学生同士の交流ができた
- ・ 今後も参加してみたい

(3) 仕事発見・見学セミナーの実施

パート1：宮城で活躍する職業人トークイベント

「知ってそうで実はよく知らない!?宮城のユニークな職業の「裏側」を知るイベントシリーズ」

- 目的 学生の興味関心を惹く仕事の照会、職場見学を開催し、県内就職への意欲を高める。また、セミナーには起業家も交え、やりたい仕事を実現するための手段として起業に対する意識づけを図る。
- 内容 社会人女性4名をゲストに迎えたパネルディスカッション
- 開催日 令和5年2月3日（金）
- 会場 INTILAQ 東北イノベーションセンター（仙台市若林区卸町2-9-1）
- 参加者 学生：会場参加8名、オンライン参加10名

パート2：実際の仕事現場見学会

- 令和5年2月21日（火） 株式会社楽天球団 参加学生：7名
- 令和5年3月4日（土） 株式会社 epi&company 参加学生：5名
- 令和5年3月28日（火） 仙台国際空港株式会社 参加学生：2名

イベントアンケート（抜粋）

- ・実際に現場に足を運んで体験できる貴重な機会だった
- ・普段は見るできない職業だったので、面白かった。
- ・職業選択に役立つ良い機会だった

【令和5年度の取り組み】

(1) 『女性活躍！仕事のやりがい発見プロジェクトチーム』による企画・検討

現役女子大学生6名で構成するプロジェクトチームを結成。企画会議を全10回開催し、令和4年度のリサーチにより得られた結果等を踏まえ、大学を卒業する女性が県内で働き、住み続けたいくなるような事業を当事者目線で企画した。

(2) プロジェクトチーム企画イベント

宮城のお宝企業発見！現役女子大生による宮城女子のための就活祭

プロジェクトチームが、当事者である女子大生目線でイベントを企画し、運営も行った。イベントでは企業からの説明だけでなく、プロジェクトチームのプレゼンによる宮城の魅力紹介、大学生と企業との座談会を行った。

- 目的 宮城の魅力を発信するとともに、宮城と首都圏での就職に対するイメージと現実のギャップを解消する
- 日時 令和6年2月4日（日）午前10時～午後3時20分
- 場所 CROSS B PLUS（仙台市青葉区大町1丁目1-30）
- 内容 【第1部】 ＊オンライン配信
 - ・企業説明（3社）
NHK 仙台放送局、株式会社高速、株式会社藤崎
 - ・宮城県の魅力紹介（プロジェクトチームによるプレゼン）

【第2部】

- ・パネルトーク（6社）、座談会（6社）

NHK 仙台放送局、株式会社高速、株式会社藤崎、
株式会社仙台銀行、仙台ターミナルビル株式会社、株式会社北洲

- 参加者 学生：会場参加 37名、オンライン参加 1名、
プロジェクトチームメンバー4名（運営参加）

イベントアンケート（抜粋）

- ・就職についてのイメージが良いものになった
- ・今までなかった考え方が見付き、就活（企業）が身近なものになった
- ・企業の方の話を聞いて、仕事の内容の幅広さ、自由さを知ることができた
- ・実際に働いている方々の話を聞くことができた
- ・企業の話聞いたことがなかったので、新鮮だった

宮城のお宝企業職場見学会

- 目的 就活祭で登壇いただいた企業を訪問し、実際にどのような仕事をしているのか、理解を深める。

■令和6年2月29日（木） 株式会社高速 参加学生：5名

■令和6年3月7日（木） NHK仙台放送局 参加学生：6名

■令和6年3月11日（月） 株式会社藤崎 参加学生：5名

イベントアンケート（抜粋）

- ・実際の職場の温度感がわかり、職場の雰囲気や特徴を掴むことができた
- ・普段見ることができない裏側を見ることができた
- ・実際の職場を見学し、幅広い職種の方の話を聞くことができた
- ・様々な場所を見学させてもらい、会社の構造や各部署の役割を知ることができた

(3) プロジェクトチーム事業報告会

■日時 令和6年3月14日（木）午後4時～午後5時

■場所 宮城県仙台合同庁舎 201 会議室（仙台市青葉区堤通雨宮町 4-17）

■参加者 プロジェクトチームメンバー2名、県職員

事業報告書「チームメンバー感想」(抜粋)

- ・このプロジェクトの影響で、当初は予定になかった宮城県内企業が就職活動の選択肢に入るようになった
- ・この活動を通じて一番良かったのは、人脈が広がったこと。普段は関わることのない社会人の方々と様々な場面で関わることで、それぞれの持つ仕事に対する価値観や人生観を通して、自分の視野が広がった気がする
- ・少子高齢化は仕方のないことだと思い込み、目をそらしていたが、このプロジェクトを機に、当事者意識を持って考え、悩めたことが貴重な経験だった

【令和6年度の取り組み】

(1) 『女性活躍！仕事のやりがい発見プロジェクトチーム』による企画・検討

学生の意見を事業に効果的に反映させるため、学生で構成するプロジェクトチームを結成して企画会議を実施し、若い女性の県外流出要因の深掘りやイベントの企画等を行った。

(2) プロジェクトチームとスクラム企業との意見交換会

女性が働くこと、県内企業での「働きやすい職場づくり」の取組についてスクラム企業と意見交換を行い、県内企業への理解を深め、企業との協働事業実施に向けた検討材料とした。

*スクラム企業：女性の雇用及び女性が働きやすい職場づくりに意欲的であり、本事業の趣旨・目的に賛同いただいた県内企業。

意見交換会の感想 (抜粋)

- ・実際に社会人から話を聞くことで、自分が想像できていた未来より、もっと先の未来を想像できた
- ・合同説明会では得られない企業ごとのカルチャーが見えて、非常に興味深かった
- ・就活は「企業名」で見えてしまいがちだが、いろんな会社があることを知った
- ・就活という場ではないところで、働く女性と対話した体験や知ったことを他の学生にも追体験してほしい

(3) プロジェクトチームとスクラム企業との協働事業

プロジェクトチームメンバーがスクラム企業6社を訪問し、働く女性にインタビューを実施して、女子大学生目線での企業の魅力を「企業紹介」としてイベントで発表した。

また、スクラム企業の「働く女性」に焦点を当てた企業紹介「みやぎ働く女性図鑑」をSNSで発信するとともに、県HPに掲載した。

(4) プロジェクトチーム企画イベント

噂の女子会でモヤモヤ解消～みんなで見つけよう！理想のワークスタイル！～

- 目的 県内企業で働く女性との対話を通じ、「宮城で働く」という選択肢を前向きに考えるきっかけにする
- 日時 令和7年2月9日（日） 午後1時から午後5時
- 会場 CROSS B PLUS（仙台市青葉区大町1丁目1-30）
参加学生：38名（プロジェクトチームメンバー含む）
参加企業：(株)鐘崎、(株)高速、(株)七十七銀行、(株)仙台三越、(株)高山、(株)Wasshoi Lab
- 内容 自己理解ワークショップ
スクラム企業の魅力紹介
噂の女子座談会（スクラム企業で働く女性との座談会）

イベントアンケート（抜粋）

- ・これまで参加した就職イベントの中で1番カジュアルで話しやすかった
- ・たくさんの仕事やそれぞれの働き方や価値観を知ることができた
- ・一方的に企業の説明を聞く機会はあったが、実際に話す機会はなかったので、良い機会となった
- ・実際に働いてみての声を聞くことができ、各企業の雰囲気も感じられた

(5) 事業報告会

- 日時 令和7年3月5日（水）午後4時～午後5時
- 場所 宮城県仙台合同庁舎501会議室（仙台市青葉区堤通雨宮町4-17）
- 参加者 プロジェクトチームメンバー6名、スクラム企業6社、県職員

プロジェクトチームメンバー考察レポート（抜粋）

- ・企業というフィルターを通さずに、地元で活躍する社会人のありのままを知る機会を作ることで、自らが地元で働く姿を想像してもらえと思う
- ・プロジェクトに参加したことで、就職先選定に際し「この人と働きたい」、「この人のように働きたい」という新たな価値観を発見することができた

■令和7年度：働く女性の理想のキャリア叶えるプロジェクト

【令和7年度の取り組み】

(1) 『働く女性の理想のキャリア叶えるプロジェクトチーム（みやぎ就活応援隊）』による企画・検討

学生の意見を事業に効果的に反映させるため、学生で構成するプロジェクトチームを結成して企画会議を実施し、企業の魅力発信に向けた取材準備や、イベントの企画等を行った。

(2) プロジェクトチームとスクラム企業との意見交換会

プロジェクトチームメンバーが企業と協働で実施する、イベントでの企業の魅力紹介、働く女性のWEB紹介等の検討材料とするため、女性活躍や若手定着に向けた取組についてスクラム企業と意見交換を行い、県内企業への理解を深めた。

意見交換会の感想（抜粋）

- ・自分の興味の範囲内では選択肢に入らなかった業種・職種について、魅力や社会的な意義を直接聞くことができ、視野が広がった。
- ・偶然の出会いから企業を知ることができる小規模の対話は効果的だと感じた。

(3) 仙台地域の働く女性のWEB紹介

プロジェクトチームメンバーがスクラム企業8社を訪問し、働く女性にインタビューを実施し、スクラム企業の「働く女性」に焦点を当てた企業紹介「みやぎ働く女性図鑑」をSNSで発信するとともに、県HPに掲載した。

また、働く女性の1日Vlog、お仕事服&お気に入りグッズのリール動画を作成し、SNSで発信した。

(4) プロジェクトチーム企画イベント

未来キャリアトーク by みやぎ就活応援隊～女性活躍企業とぶっちゃけ座談会～

- 目的 県内企業で働く女性との対話を通じ、「宮城で働く」という選択肢を前向きに考えるきっかけにする
- 日時 令和8年2月10日（火） 午後1時から午後5時
- 会場 CROSS B PLUS（仙台市青葉区大町1丁目1-30）
参加学生：48名（プロジェクトチームメンバー含む）
参加企業：アイリスオーヤマ(株)、(株)阿部蒲鉾店、旭陽電気(株)、ゼライス(株)、(株)ハミングバード・インターナショナル、(株)藤崎、みらい創研グループ、(福)ライフの学校
- 内容 スクラム企業の魅力紹介
ぶっちゃけ座談会（スクラム企業で働く女性との座談会）

イベントアンケート（抜粋）

- ・フラクな対話ができ、社員として働いているからこそわかるリアルな情報を聞くことができた。
- ・通常の説明会では得られない経験だった。
- ・座談会では社内の雰囲気だけでなく、働いている方の人柄に触れることができた。
- ・就活だけでなく、入社後のキャリア形成についても話すことができた。

(5) 活動報告会

- 日時 令和8年3月12日（木）午後1時30分～午後3時30分
- 場所 (株)プレスアート8階 Park（仙台市若林区土樋103番地）
- 参加者 プロジェクトチームメンバー5名、スクラム企業7社、県職員

プロジェクトチームメンバー考察レポート（抜粋）

- ・スクラム企業で働く女性が明確なキャリアプランを持ち、やりがいを感じながら働いている姿を見て、大事なものは「本当に自分がやりたいこと、なりたい姿」だと感じるようになった。
- ・首都圏でスキルを磨きたいと考えていたが、プロジェクトを通して「宮城でも私の理想のキャリアを叶えられるかもしれない」と考え、宮城で働きたい気持ちが大きくなった。首都圏で働くではなく、誰とどう働くかが重要だと知った。

（6）首都圏に就職した若い女性の就職・ライフコースに関する実態調査

- 調査対象 宮城県の大学に在学したものの、就職を機に首都圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県の1都3県）に転出した20～29歳の女性
- 調査方法 インターネットアンケート調査及びオンラインでのインタビュー調査
＊アンケート回答者からインタビュー対象者を選定。
- 調査項目 就職先を首都圏にした理由、就職先の選定において重視したポイント、就活前後のイメージギャップ、仕事のやりがい、働きやすさ・働き続けやすさ、理想のライフコース、宮城県へのUターン意向等。
- 回答数 アンケート調査45人、インタビュー調査20人

調査結果（抜粋）

- ・20代前半では転職経験者が少ないが、20代後半になると60%以上が転職を経験しており、入社後3～5年以降にキャリアを見直す傾向にある
- ・就活を行う前の就職希望地として、全体の約67%、宮城県出身者の約71%が宮城県を選択肢に入れており、全体の約56%、宮城県出身者の約54%が宮城県でも就活を行っていることから、宮城県の企業にもチャンスがあったことがわかった
- ・現在未婚の回答者のうち80%に結婚の意向があり、現在子どもがいない回答者の約65%が子どもを持ちたいと考えている
- ・理想のライフコースは「仕事と家庭の両立」が約42%と最も多く、結婚・出産後も仕事を続けたいと考えている
- ・全体の約47%、宮城県出身者の約43%が将来的に宮城県に戻る可能性があるとは回答しており、都市の利便性と落ち着いた環境、豊かな自然、アットホームな雰囲気宮城県の魅力であり、仕事と子育ての両立に向けた親のサポート、友人とのプライベート時間の充実を期待していることがわかった

*プロジェクトチーム Instagram

<https://www.instagram.com/sdsin.wemp/>

*みやぎ働く女性図鑑（県HP）

<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sdsgsin-e/hatarakujoseizukan.html>